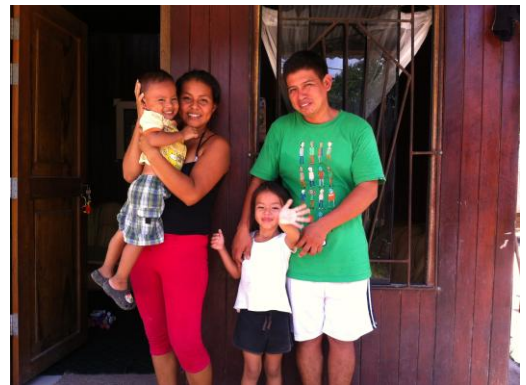




- 調査実施日 2014年3月27日
- 調査場所 ウカヤリ州ヤリナコチャ市サンホセ地区の一般家庭
- 調査対象 アレクサンドロ（仮名）さん一家
現地通貨ヌエボソル（通称ソル 1米ドル=2.8ソル・2014年3月現在）

家族	夫 アレクサンドロさん（31歳） 妻 （24歳） 長女 （5歳） 長男 （2歳）
世帯収入	月額 2,500 ソル（年平均）
職業	溶接工
休日	不定期
出身地	ウカヤリ州ヤリナコチャ郡



実は日系3世のアレクサンドロさん。24歳の時、当時15歳だった妻と結婚した。周囲の不安をよそに、手に職を持つ夫の堅実な働きぶり、若くして良妻賢母ぶりを発揮する妻との二人三脚で、若い夫婦は明るい未来を思い描く幸せな生活を送っている。

資金をためてビジネス拡大を目指す夫は向上心が強く、冷蔵庫や洗濯機などの家電の充実ぶりが目を引く。ガスレンジの買い替えや家業でもあるスクリー製作の作業場の拡充など将来の計画は明確だ。

アレクサンドロさん（31歳）

職業 溶接工
月収 2,500 ソル

よく使う交通手段は？
三輪バイク、ボート

趣味は？
サッカー。現在はもっぱら観戦がメイン。

休暇の過ごし方は？
自分が所属していた地元サッカーチームの応援。



買い物スポットは？
半年前にオープンしたショッピングモール中核店で冷蔵庫を1か月前に買った。近所で揃わないものはヤリナコチャで購入。

今欲しいものは？
家業のボート用スクリー製作の作業場の拡充。

妻（24歳）

職業 主婦
月収 なし

よく使う交通手段は？
三輪バイク、ボート

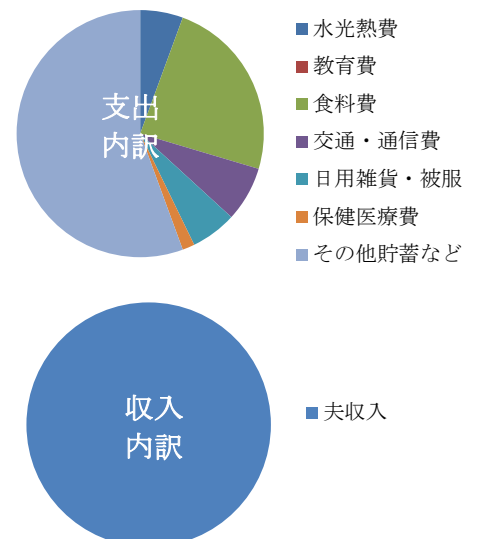
休暇の過ごし方は？
最近できたショッピングモールに家族で出かけウィンドウショッピングと外食。

趣味は？
とくにない。



買い物スポットは？
日用雑貨や普段の食材は近所に2軒ある個人商店で事足りる。週末にはプカルパ市に最近できたショッピングモールで流行を探る。

今欲しいものは？
ミキサーとオープン付きガスレンジ。



住居 清潔な室内、家電の充実ぶりが印象的



集落のはずれに立地する区画にあるこじんまりした平屋の家屋がアレクサンドロさん一家の住居だ。玄関から中に入るとテレビとステレオが置かれた居間がある。家族団らんの場所だ。奥は台所と洗濯場、中ほどに寝室が二つある。寝室の一つは子供が大きくなったときを想定してのもの。現在は乳幼児2人と夫婦4人がベッド2つをシェアしている。簡素ながら清掃の行き届いた室内が印象的だ。冷蔵庫、洗濯機、テレビ、ステレオと豊かな近代的生活を象徴する家電も完備している。高額商品も計画的に購入するなど金銭感覚も備わっている。上昇志向の強い若い夫婦の自信が家中にみなぎっている。

所有の有無	所有	テレビ	中古（サムスン）、400 ソル（4年前）
間取り	平屋建て、寝室2、居間・食堂・台所	冷蔵庫	新品（Mabe）、1,600 ソル（2年前）
広さ	敷地面積 150 m ² 、総床面積 60 m ²	洗濯機	新品（LG）、2,000 ソル（1カ月前）
居住年数	5年	ガスコンロ	中古（国産）、120 ソル（3年前）
電気	100 ソル/月	ミキサー	中古を母親から借りている
上水道	5 ソル/月 地域共同体で運営	ステレオ	中古（Sony）、150 ソル（2年前）
下水道	なし（生活域に下水道インフラが未整備）	DVD	中古を友人から無償で譲り受けた
ガス	ボンベ交換式。33 ソル/月	電子レンジ	なし
電話	携帯電話 60 ソル/月	アイロン	なし
インターネット	未整備	PC	なし
ケーブルTV	未整備	自動車	オートバイ1台、三輪オート1台



玄関で靴を脱ぐと居間になっている。テレビとステレオ完備の家族憩いの場。



トイレ



自宅脇にある、家業のボート用スクリーン制作の作業場。



家族の寝室。熱帯雨林気候では蚊帳は必需品。雨季は洗濯物を部屋で乾かす。



清掃の行き届いたダイニングキッチン。冷蔵庫が完備されている。



サンホセ集落全域に下水道インフラが整備されていないため、仕方なく庭の片隅に穴を掘ったアーストイレを利用している。昨年末に正式に電力料金の支払いを開始。今年7月に下水道整備工事が予定されているとのことで、完成の暁には、自宅の下水を下水管幹線に接続することを心待ちにしている。



台所の片隅に置かれている洗濯機。1カ月前に1,900 ソルで購入した。



自家用の三輪オート。近郊に出かけるのに利用。妻用のオートバイも所有。

料理の献立は首都圏とまったく同じ

日系3世のアレクサンドロさんだが、アマゾンの先住民との混血でもあり、また、妻は先住民系の直系なので、食生活のルーツは先住民伝統の魚とバナナ、キャサバであるはずなのだが、上昇志向の強い夫の影響からか、作る食事は首都リマの庶民が一般的に作る料理と同じ献立である。

献立はアロス・コン・ポヨ（コリアンダー風味の鶏肉入りピラフ）、アロス・チャウファ（中華チャーハン）、タジャリン・サルタード（醤油焼きスパゲッティ）など全国的にお馴染みの献立ばかり。魚のフライや網焼きを挙げたのは、アマゾン河が豊かな恵みをもたらす土地柄からだ。

よく使う鶏肉やタマネギ、ニンニク、朝食用の牛乳や卵、ソーセージのほか、各種調味料などの食材は近所のボデガと呼ばれる個人商店ですべて揃う。又、魚は行商人が売りに来るので、食材を買うために、大きな伝統市場がある近郊のヤリナコチャに行くことはない。

ご主人は道路工事の現場のシフトが身に付き午前4時30分に起床する。家業であるボート用スクリュー制作はかなりの重労働のため、朝食からソーセージにご飯としっかりとしたものを食べる。妻と子供はシリアルと牛乳などの軽いもので済ませる。

昼食は妻が9時ごろまでに作ってしまい、その後は洗濯などの家の用事を済ませる。午後1時に昼食。夕食は午後7時～8時ごろで、昼食の残りものとする。

外出はプカルパ市まで出かけてポヨ・ア・ラ・ブラサというローストチキンを食べることが多い。家族4人で40ソル。妻はピザが好きで夕食のときは妻のリクエストに応じることもある。



左：ミキサーは地域に関係なくペルー人家庭になくてはならない必需品。長年使った品の買換えを計画中。右：ガスコンロは使用には問題ないが、ご主人はオープン型の本格的なガスコンロの買換えを検討中。予算は900ソル



上中央右：2年前に購入したメキシコの家電メーカーMabe製の冷蔵庫。ちょっと中身を拝見。上中央：冷凍庫には鳥もも肉一切れと氷が入っている。上中央左：冷蔵部には一度煮沸した水道水を飲料水として保管。その他果物などが収まっている。上左：コンロの下に収納された食材の数々。コメ、小麦粉、レンズ豆、スパゲティなど。最近では離乳食にも使え、手軽に食べられる即席めんがお気に入り。上右：調味料の数々。塩や酢（ワインビネガー）のほか、胡椒の代わりに多用されるクミンやパブリカ粉末、隠し味に欠かせない味の素の小袋が見える。



近所の買い物

普段の買い物は近所ですべて事足りるということで、行きつけの個人商店に案内してもらう。首都圏の個人商店との違いは、薬品や文房具、金物まで売っている小型版のスーパーマーケットとして機能していることである。右上では「味の素」が1回量の小袋単位で売っているのがおわかり頂けるだろうか。調味料コーナーには小麦粉や食酢、トマトペースト、片栗粉と並んで味の素社製の醤油が売られている。右下のように鶏肉も冷凍肉で購入できる。



タイムテーブル

平日 (上) 休業日 (日曜日) (下)

	アレクサンドロさん	妻	長女
5:00	起床、朝食		
6:00	作業開始	起床・朝食	起床・朝食
7:00		幼稚園に子供を送る	幼稚園に通園
8:00			
9:00		昼食の準備	
10:00		家事 (掃除・洗濯など)	
11:00			
12:00			帰宅
13:00	弁当	昼食	昼食
14:00			
15:00		ご主人の手伝いなど	遊ぶ
16:00	作業終了		
17:00	休憩・テレビなど	休憩・テレビなど	
18:00			
19:00	夕食	夕食	夕食
20:00	テレビを見る	テレビを見る	就寝
21:00	就寝	就寝	

	アレクサンドロさん	妻	長女
6:00	起床・朝食	起床・朝食	起床・朝食
7:00			
8:00	家の修繕など	家事	遊ぶ
9:00			
10:00	地元サッカーチームの応援	家族で出かける	家族で出かける
11:00	(プカルパに買い物の場合も)		
12:00			
13:00			
14:00			
15:00	帰宅	帰宅	帰宅
16:00		夕食の準備	テレビを見る
17:00			
18:00	夕食	夕食	夕食
19:00	テレビを見る	テレビを見る	テレビを見る
20:00			就寝
21:00	就寝	就寝	

取材ノート:

上昇志向の強い若い夫婦は、全国的に見ても後進地域と目されるアマゾン地方の辺境の集落にあっても、将来を見据えた計画と目標をもって生活を営んでいた。とりわけ教育に力を入れたことで知られる日系人の血を引いていることも、溶接工という身につけた職を武器に、道路工事現場の出稼ぎも含めて高収入を得ている源泉といえそう。妻が15歳のときに妊娠したことからなし崩し的に結婚することになり、当初は周囲から心配されていた。しかし、結婚から9年が経過し、夫の仕事も軌道に乗り始め、二人の子供が小学校に入学し、教育費がかさむことを見越して、製品の充実と多様化、それに伴う資機材の更新といった事業拡張に向けた準備を始めている。ハイパーインフレとテロの嵐が吹き荒れた80年代を経て、93年以降の安定した高度成長が、地方の生活スタイルにも確実に変化をもたらしている例証と言えよう。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。